

社団法人 ロシア NIS 貿易会

平成 18 年度事業報告書

1. 情報サービス・ビジネス交流事業

1. 資料・刊行物等の作成、配布

- ・ 定期刊行物として、「ロシアNIS調査月報」、「ロシアNIS経済速報」(旬報)を刊行、配布した。
- ・ 「Moscow Business News」(旧「Ronis Moscow News」)による情報の提供を行った。
- ・ その他、適宜、資料の作成、配布ならびにレファレンス・サービスを行った。

2. ミッションの派遣

- ・ 高垣会長を団長とする「ロシア経済特区訪問団」(総勢 23 名)をロシアに派遣し、モスクワで開催された「ロシア経済特区フォーラム」に参加し、ロシアの経済特区への取り組みについての情報を得たほか、経済特区に指定されたモスクワ市ゼレノグラード区とタタリスタン共和国エラブガ市を訪問し、各経済特区の整備状況と経済特区を利用した際の利点などについて調査した。(平成 18 年 5 月 15 日~19 日)(. 国庫補助事業:参照)
- ・ 高垣会長を団長として「極東ロシア港湾・物流視察団」(総勢 20 名)をロシア連邦サハリン州、沿海地方に派遣した。サハリン州では、コルサコフ港およびサハリン の LNG 建設現場を視察した。沿海地方では、ウラジオストク港、ナホトカ港、ポストーチヌイ港等の主要港を訪れ、各港のインフラ整備状況、稼働状況、資本関係などの情報を得た。(平成 18 年 7 月 30 日~8 月 5 日)
- ・ 第 1 回「日露投資フォーラム」が、ロシアのサンクトペテルブルグで開催された。日本の経済産業省、ロシア経済発展貿易省、日露貿易投資促進機構(事務局は(社)ロシア NIS 貿易会)の主催のもとに 600 人におよぶ日露の経済関係者が集まった。(平成 18 年 9 月 6 日~8 日)(. 国庫補助事業:参照)
- ・ 高垣会長を団長として「ウズベキスタン・カザフスタン訪問団」(総勢 26 名)を派遣した。金、綿花、天然ガス、農産物の生産で知られるウズベキスタンと石油・非鉄金属等の豊富な資源を有するカザフスタンを訪問し、政府関係者等と意見交換を行った。(平成 18 年 9 月 13 日~20 日)

3. ミッションの受入

ロシア等相手国の要請に応じて、適宜受け入れた。(. 国庫補助事業、 . 石油特別会計補助事業:参照)

4. 講演会・シンポジウム・セミナー等の開催

- ・ みずほコーポレート銀行他が主催した「中東欧・ロシアセミナー」を後援した。(平成 18 年 4 月 25 日、帝国ホテル(東京))(平成 18 年 4 月 27 日、リーガロイヤルホテル(大阪))
- ・ METROPOL GROUP が主催した「ロシア投資セミナー 2006」を後援した。エフゲニー・プリマコフ・ロシア商工会議所会頭によるオープニング・スピーチに続きロシア政府関係機関による講演のあと、

- 有力企業幹部によるプレゼンテーションが行われた。(平成18年5月29日、パレスホテル チェリールーム)
- ・ROTOBO・メンバーズ・ブリーフ「ロシア経済特区訪問団報告」を開催(講師:岡田邦生・ロシア東欧経済研究所次長、平成18年6月2日、ロシア東欧貿易会会議室)
 - ・「大阪ロシア極東ビジネスセミナー」を大阪府、(社)大阪国際ビジネス振興協会(IBO)等と共に主催した。(講師:高橋浩・ロシア東欧経済研究所次長他、平成18年6月16日、マイドームおおさか)(. 国庫補助事業:参照)
 - ・ROTOBO・メンバーズ・ブリーフ「サハリン2をめぐる状況とロシアの投資環境」を開催(講師:坂口泉・ロシアNIS経済研究所次長、高橋浩・ロシアNIS経済研究所次長、平成18年9月29日、ロシアNIS貿易会会議室)
 - ・ROTOBO・メンバーズ・ブリーフ「資源依存を強めるロシア経済」を開催(講師:クリフォード・ギャディ・ブルッキングス研究所上席研究員、平成18年10月24日、ロシアNIS貿易会会議室)
 - ・シコリニク・カザフスタン共和国産業貿易大臣一行による「カザフスタン共和国投資プレゼンテーション」の開催(カザフスタン産業貿易省、駐日カザフスタン共和国大使館、日本カザフスタン経済委員会、日本貿易振興機構との共催、平成18年10月30日、如水会館)(. 二国間経済委員会事務局業務の受託運営:参照)
 - ・高垣会長を中心に「ロシア極東情勢を語る会」を開催し、「極東ロシア港湾・物流視察団」と「極東国際経済フォーラム」の出張報告を兼ねて意見交換を行った。(平成18年11月6日、国際文化会館)
 - ・KPMG 特別セミナー「ロシア・ビジネス特集 - ロシア市場参入の際のリスク・コントロール - 」をKPMG (あずさ監査法人)と共催(講師:岡田邦生・ロシアNIS経済研究所次長他、平成18年11月16日、大手町ファーストスクエア)
 - ・「ロシア連邦サハ共和国石油開発セミナー」を開催した。サハ共和国対外関係省のメンバーを招聘し、石油開発に関するプレゼンテーションを行った。(平成18年11月17日、東京証券会館)(. 国庫補助事業:参照)
 - ・「ロシアITセミナー(AVAS Intelligent Vehicle Control System)」を開催した。ロシアのIT分野の企業専門家を招聘し、IT産業の現状に関するプレゼンテーションを行った。(平成18年12月11日、東京証券会館)(. 石油特別会計補助事業:参照)
 - ・「ロシアビジネス環境セミナー - ソ連解体後15年のロシア経済と極東開発の展望 - 」を開催した。セミナー後に「ミナキル極東経済研究所所長の旭日中綬章受勲をお祝いする会」を開催した。(講師:A.G.アガンベギャン ロシア連邦政府付属国民経済アカデミー主任教授、P.A.ミナキル ロシア科学アカデミー極東支部経済研究所所長、平成19年1月30日、如水会館)
 - ・ロシアNIS貿易会創立40周年記念式典および記念懇親会が開催された。第一部記念式典では、下斗米伸夫法政大学法学部教授による記念講演があり、第二部記念懇親会では約180名が出席した。(平成19年2月1日、如水会館)

- ・「第2回日露投資フォーラム」が、ロシアのフラトコフ首相、日口政財界の要人を迎えて開催された。全体会合、テーマ別分科会、歓迎レセプションが行われた。(平成19年2月28日、経団連会館、レセプションのみホテルニューオータニ)(. 国庫補助事業：参照)
- ・「日本とウズベキスタンとの鉱物資源協力の可能性に関する公開討論会」の開催(経済産業省、(財)貿易研修センター、ウズベキスタン対外経済関係・投資・貿易省、ウズベキスタン政策研究所、ウズベキスタン文化芸術フォーラム基金との共催、平成19年3月6日、経済産業省)
- ・「ロシア連邦商工会議所プレゼンテーション」が開催された。ロシア連邦商工会議所代表団によるロシアでの駐在員事務所、現地法人設立に必要な手続きの説明があった。(平成19年3月14日、如水会館)(. 国庫補助事業：参照)
- ・KPMG 特別セミナー「ロシア M&A 特集 - Challenges in Russia - 」をKPMG(あずさ監査法人)が開催、在日ロシア連邦大使館、ロシア NIS 貿易会が後援(平成19年3月28日予定、日本工業倶楽部)

5. ロシア語研修事業

サンクトペテルブルグ大学に3名のロシア語研修生を派遣した。

6. 見本市関連事業

平成18年度に関係諸国で開催された各種見本市について情報提供を行った。

- ・ロシアの自動車用品見本市「インターアフト - 2006」に日本企業1社が出展のため、スペースを確保し、日本ブース区画を組成した。(平成18年8月30日~9月3日、モスクワ)(. 国庫補助事業：参照)

7. マイクロ・ビジネス支援事業

- ・中小ビジネス投資促進研究会の開催：第1回~第5回開催(平成18年6月、10月、11月、12月、平成19年3月)(. 石油特別会計補助事業：参照)
- ・中小ビジネス投資促進視察団の派遣(. 石油特別会計補助事業：参照)

8. 日露貿易投資促進機構関連事業

「日露貿易投資促進機構」事務局業務を担当し、日本とロシアとのビジネス促進に係わる事業を実施した。(. 国庫補助事業：参照)

. 受託調査等事業

下記の調査事業を受託した。(括弧内は受託先)

- 「ロシア語石油天然ガス情報翻訳注釈サービス契約」((独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構)
- 「ロシアNIS諸国における最新の政治経済動向に関する調査・研究」(内閣官房内閣情報調査室)
- 「ロシアの投資環境調査」(財)海外投融資情報財団)

その他、下記の調査業務等を行った。

- ・「投資専門家（Senior Investment Advisor）派遣事業実施に係わる業務委託」 派遣先：ポーランド（日欧産業協力センター）
- ・「Global SQUET にかかる情報提供」（民間企業からの業務委託）

他

・国庫補助事業

国庫からの補助金を得て下記の事業を実施した。

ロシア地域貿易投資促進事業費補助金（海外市場調査等事業）

1. 情報収集・提供事業

（1）ビジネス基礎情報整備

以下の事業項目に従い、日口の企業情報、貿易投資関連基礎情報およびビジネス関連情報の収集を行い、適宜更新を行いながら、データベースを構築し、情報を提供した。

日露企業情報収集整備・更新

貿易投資関連基礎情報及びビジネス関連情報整備・更新

データベース構築・更新

（2）ビジネス詳細情報収集提供

ロシア新規市場開拓可能性調査

- ・「ロシアのプリンタ市場の調査」（平成 18 年 10 月 12 日～20 日 モスクワ、サンクトペテルブルグ）

当該市場の一般的な調査に加えて、日系事務機器メーカーの専門家とともにモスクワおよびサンクトペテルブルグを訪問した。面談先である調査会社、ディーラー、企業、大学等、様々な視点からの意見を聴取した。また、現地の調査機関に調査レポートを発注し、当該市場の全体像および各メーカーの販売状況等の把握に努めた。

- ・「ロシア医療機器市場の調査」（平成19年2月11日～18日 モスクワ）

当会職員と日本の医療機器メーカー専門家をロシアに派遣し、保健医療を所管する中央省庁および地方行政の担当者、医療機関、保険会社、医療機器メーカー、販売業者等を訪問してロシアの保健医療政策、規制環境、国家調達、医療サービスの現状、市場の動向について情報収集と分析を行った。

ロシア経済法運用・市場慣行実態調査

- ・「ロシアの金融制度と日本のビジネスチャンス」（平成 18 年 12 月 3 日～8 日 モスクワ）

ロシアの金融システムの現状と問題点、今後の展望、ロシア企業による資金調達スキームの多様化の流れ等について、現地調査を実施するとともに、ロシア側の調査機関および専門家にレポートの作成を依頼した。それらによって得られた情報と、当会が独自に得た情報をベースに、ロ

シアの金融制度、銀行システムの概要、邦銀の進出状況、またそれらによる日ロ経済関係の円滑化、拡大、多様化の可能性に関する報告書を作成し、ビジネスマッチングに資する活動を行った。

- ・「ロシアの WTO 加盟が市場慣行に与える影響についての調査」（平成 18 年 11 月 26 日～12 月 3 日 モスクワ）

ロシア連邦モスクワ市を訪問し、現地調査を行った。ロシアの WTO 加盟交渉の進捗状況、ならびに WTO 加盟が同国の市場慣行や産業に及ぼす影響についての情報を収集し、その分析を行った。

2. ビジネスマッチング、コンサルティング事業

(1) セミナー開催事業

ロシア開催

- ・「ロシア経済特区セミナー」

(社)ロシア東欧貿易会派遣の「ロシア経済特区訪問団」の開催と合わせて、ロシア連邦モスクワ市ゼレノグラード区およびタタルスタン共和国エラブガ市において、ロシアの経済特区法および経済特区に指定された各地域の特徴と特典、そして、世界各国の経済特区の事例をテーマにセミナーを開催した。(平成 18 年 5 月 15 日～19 日)

- ・「第 1 回日露投資フォーラム」

平成 17 年 11 月の二階経済産業大臣とグレフ経済発展貿易大臣との会談時における合意を受けて、平成 18 年 9 月 6 日～8 日にかけて、サンクトペテルブルグにおいて、日本側参加者 250 名、ロシア側参加者 350 名を集めて、「第 1 回日露投資フォーラム」を開催した。

日本開催

- ・「大阪商売繁盛セミナー」

「第 2 回 Business Link 商売繁盛 at INTEX OSAKA」フォーラム(平成 18 年 5 月 11 日、インテックス大阪)にロシア東欧貿易会が相談コーナー(1ブース)を設営した。本フォーラムに参集する関西圏の企業に対して、ロシア・CIS・中東欧諸国とのビジネスを希望している企業との個別面談を実施し、関係諸国への日本企業のビジネス参入および貿易取引の促進を図った。

- ・「大阪ロシア極東ビジネスセミナー」

(社)大阪国際ビジネス振興協会(IBO)等との共催で、アンドレイ・ベロフ福井県立大学経済学部教授他を招き、極東ロシア地域の経済とビジネスの現状・事例を紹介し、ビジネスマッチングを図った。(平成 18 年 6 月 16 日、マイドームおおさか)

- ・「福岡ロシア極東ビジネスセミナー」

地方でのロシアビジネス関心の高まりを受け、主要ビジネス圏である福岡でセミナーを開催(平成 18 年 7 月 28 日、福岡市商工会議所。名称を「ロシア極東ビジネスシンポジウム」とし、シンポジウム形式で実施。)し、地元企業のロシア極東ビジネスに対する関心を高め、ビジネスマッチングを図った。

- ・「サハ共和国石油開発セミナー」

ロシア連邦の構成主体の一つであるサハ共和国(ヤクーチャ)から代表団が訪日するのを機

に、石油開発セミナーを開催（平成18年11月17日、東京証券会館）し、サハ共和国の石油開発プロジェクトの関連情報を関係者に提供し、プロジェクト参入への足がかりを作った。

・「第2回日露投資フォーラム」

フラトコフ・ロシア首相の訪日を機に、日本の経済産業省、ロシア経済発展貿易省、(社)ロシアNIS貿易会の主催のもと、日本側約300名、ロシア側約200名の参加を得て、ロシアへの投資促進のためのフォーラムを開催し、双方の企業のビジネスマッチングを図った。（平成19年2月28日、経団連会館）

・「ロシア連邦商工会議所プレゼンテーション」

在日ロシア通商代表部、ロシア連邦商工会議所と共催で実施し（平成19年3月14日、如水会館）、当会会員をはじめとする日本企業からの参加者約60名に、ロシアでの駐在員事務所、現地法人設立に必要な手続きに関する具体的な情報を提供した。

（2）ビジネス・マッチング型専門家派遣

1.（1）のビジネス関連情報等に基づき、日本の新規市場開拓につながる可能性の高い有望地域、分野に専門家を派遣し、日露両国企業間のビジネス・マッチングの機会を創出した。具体的な派遣は以下の通り。

・「日ロ 不動産ビジネスマッチング」（モスクワ）

平成18年7月10日～14日派遣

・「ロシアの自動車部品・自動車用品分野におけるビジネスマッチング」（モスクワ、サンクトペテルブルグ）平成18年8月31日～9月5日派遣

・「チェリャビンスク州におけるビジネスマッチング（5S・カイゼンなどソフトとしての生産管理手法）」（チェリャビンスク州）

平成18年9月2日～10日派遣

・「チェリャビンスク州におけるビジネスマッチング（製鋼スラグ処理技術）」（チェリャビンスク州）

平成18年9月9日～17日派遣

・「日本製洋食器のロシアへの輸出促進」（モスクワ、サンクトペテルブルグ）

平成18年10月8日～13日派遣

・「極東ロシア・シベリア地域におけるビジネスマッチング」（ウラジオストク、ハバロフスク、ノボシビルスク、トムスク）平成19年3月4日～9日派遣

（3）コンサルティング型専門家派遣

事前調査

今後の日ロビジネス機会、事業連携創出のモデルとなる企業を選定し、企業経営効率化、近代化等の総合的なコンサルテーションを行うモデル企業、地域の選定のための調査を行った。

- ・「日本・ロシア知的所有権取引促進事業事前調査」(モスクワ、トムスク、ノボシビルスク)
平成 18 年 11 月 13 日～19 日派遣
- ・「カルーガ州における事前調査」(カルーガ州)
平成 19 年 3 月 10 日～17 日派遣
- ・「チェリャビンスク州における事前調査」(チェリャビンスク州)
平成 19 年 3 月 17 日～25 日派遣
コンサルタント派遣
平成 17 年度に実施した事前調査により選定された 2 社のモデル企業に対して、日本からコンサルタントを派遣し、企業診断、マーケティング、技術指導等の総合的なコンサルティングを行った。
- ・「沿海州ザハール社に対するコンサルティング指導」 平成 18 年 5 月、7 月、10 月、12 月
沿海州、ウラジオストク市にあるコンクリート製造企業であるザハール社に対して、企業業績向上のためのコンサルテーションを実施し、その作業を通じて、日本企業とのビジネスマッチングを図った。
- ・「チェリャビンスク州テプロプリボール社に対するコンサルティング指導」 平成 18 年 7 月、9 月下旬～10 月、平成 19 年 2 月
チェリャビンスク州にある計測器製造企業であるテプロプリボール社に対して、日本人専門家を派遣し、同社の問題点、ビジネス方法についての検討、生産現場への 5S 導入指導、カイゼン指導を行い日本企業とのビジネスマッチングを図った。

(4) 受入研修事業

日露貿易投資促進機構日本側機構の事業の一環として、特に(3)コンサルティング型専門家派遣で実施した事業の効果を高める観点から、ロシア側企業の経営者等を日本に招き経営管理、生産技術、販売、財務をテーマとした研修を実施した。また、日本海沿岸地域と極東ロシア地域間の貿易取引・投資の促進を図るため、日本海沿岸地域の自治体、経済団体、国際交流団体等と協力して、極東ロシアのビジネスマンを日本に招いて、貿易促進セミナーや投資促進セミナー等を開催し、日本企業と極東ロシア地域の企業とのビジネスマッチングを図った。

コンサルティング指導対象企業訪日指導

- ・「チェリャビンスク州チェリャブギプロメス社に対する製鋼スラグ処理事業化訪日指導」
平成 18 年 10 月 29 日～11 月 5 日受入
- ・「チェリャビンスク州テプロプリボール社に対するコンサルティング訪日指導」
平成 18 年 11 月 4 日～11 日受入
- ・「沿海州ザハール社に対するコンサルティング訪日指導」
平成 19 年 2 月 18 日～2 月 25 日受入
環日本海地域貿易投資促進訪日指導
- ・「富山県 NEAR 2006 in とやま における日ロビジネスマッチング」

平成 18 年 9 月 6 日～7 日受入

- ・「北海道食品企業と極東ロシア企業との販路拡大ビジネス・イノベーション」

平成 18 年 10 月 12 日～15 日受入

- ・「稚内市とサハリン州との日用品および生活関連分野におけるビジネスマッチング」

平成 18 年 11 月 10 日～14 日受入

- ・「秋田県・沿海地方ビジネスマッチングセミナー」

平成 18 年 12 月 10 日～14 日受入

- ・「北海道室蘭・サハリン インフラ活用ビジネスマッチング」

平成 19 年 2 月 18 日～25 日受入

- ・「大阪府におけるロシア沿海地方運送業等ビジネスマッチング事業」

平成 19 年 3 月 11 日～15 日受入

3. 機構関連業務実施円滑化事業

「日露貿易投資促進機構」事務局業務の円滑な実施のために当会モスクワ事務所の機能を活用して、ロシア連邦政府、地方行政府との間の頻繁な折衝、調整等を行った。必要に応じて、モスクワ事務所の職員を現地に同行させ、適切な助言と支援を行い、また、ロシア人研修生の日本への渡航に際しては、日本入国査証の支援を行い、事業の円滑な実施を可能にした。

中央アジア等産業育成支援事業費補助金（政府開発援助海外市場調査等事業）

1. 中央アジア等産業育成支援事業

本事業では、対象国として中央アジアのキルギスを選択し、同国政府および現地日本関係機関等との協力のもと、平成 17 年度に引き続き日本人コンサルタントによる対象企業の生産性向上のための企業コンサル事業を行った。平成 18 年度においては、コンサルティング対象の Besser-Central Asia 社および Politon 社に対し、平成 18 年 7 月～8 月にかけて予備調査を実施し、前年度のコンサルティング指導の成果と本年度の本格指導に向けた課題の確認を行った他、平成 18 年 12 月には、予備調査での確認事項を踏まえ、それぞれ 5 日間ずつの本格コンサルティング指導を実施した。また平成 19 年 1 月、Besser-Central Asia 社および Politon 社の経営幹部 4 名を日本に招聘し、日本企業を視察するなど研修を行い、平成 19 年 3 月には本事業の締めくくりとしてキルギスにて本事業に関するフォローアップ・プレゼンテーションを実施した。

・石油特別会計補助事業

石油特別会計からの補助金を得て下記の事業を実施した。

（中東等産油国投資等促進事業）

1) ロシア投資促進事業

1. 対ロシアビジネス交流支援事業

ロシアのビジネス環境の実態調査や投資環境整備・促進を目的としたミッション等を派遣し、ロシアの

非石油産業に対する投資促進を図った。

(1) ロシア投資環境調査事業

- ・「ロシア流通市場調査」平成19年2月4日～11日現地調査（モスクワ）

当会職員と日本の食品および食品加工メーカーの専門家を派遣し、ロシアにおけるチェーン店の仕入れ担当者、輸入業者・卸売業者、業界紙編集者等からヒアリングを行い、流通市場の概況を把握するとともに、小売店に日本の食品を導入するための条件等についての情報を収集、これらにロシア側の市場レポートによって得られた情報、当会が独自に得た情報を合わせて報告書を作成した。

- ・「ロシア自動車部品市場等調査」平成19年1月21日～28日現地調査（モスクワ、カルーガ、サンクトペテルブルグ）

ロシアの自動車部品市場および関連する物流の問題等を中心とするロシア投資環境についての調査を行うために関係企業、組織のヒアリングを実施した。

(2) 中小ビジネス投資促進支援事業

中小ビジネス投資促進研究会等開催

ロシア市場へ新規参入・投資をめざす我が国企業を支援するために、中小ビジネス投資促進研究会を開催し、ロシアとの中小ビジネスまたはビジネス振興に関心をもつ中小企業、団体、地方自治体等を対象に会合を開催し、意見交換、情報交換、問題点の検討、ロシア企業との交流を行った。

- ・第1回研究会の開催

「ロシア極東ビジネスの展開と問題点」

（平成18年6月15日、東京証券会館9階第5会議室）

- ・第2回研究会の開催

「サンクトペテルブルグ日露投資フォーラムの開催結果について」

「サンクトペテルブルグの経済状況ならびに経済特区について」

（平成18年10月31日、東京証券会館9階第9会議室）

- ・第3回研究会の開催

「ロシア極東の港湾・物流事情について」

（平成18年11月30日、東京証券会館9階第8会議室）

- ・第4回研究会の開催

「ロシア進出の際のオフィス・住宅選定から事務所設立手続きについて」

「ロシアにおける会計業務について」

（平成18年12月6日、東京証券会館9階第5会議室）

- ・第5回研究会の開催

「フラトコフ・ロシア首相訪日結果概要について」

「2006年の日ロ貿易」

（平成19年3月26日、東京証券会館9階第3会議室）

中小ビジネス投資促進視察団派遣

ロシア市場に興味を持ちながらも、これまでロシアとの取り引き経験のない日本企業を対象として視察団を形成し、極東ロシア地域に派遣し、現地で市場調査、商談会を開催した。

- ・「福岡県企業の極東ロシア経済視察団」(ウラジオストク)

平成 18 年 9 月 13 日～16 日

- ・「大阪府企業の極東ロシア経済視察団」(ウラジオストク、ハバロフスク)

平成 18 年 10 月 29 日～11 月 3 日

2. 日露技術交流事業

ロシアの優れた技術を日本企業に情報提供するとともに、日ロ双方の技術者の交流を通して、両国の技術交流、技術提携の機会を提供することにより、企業連携、投資の促進を図るため、以下の事業を実施した。

(1) 技術ニュースレター発行

ロシアの技術関連情報を提供するため「技術ニュースレター」を年 6 回発行した。

No.1 「新技術 - PLC テクノロジー」平成 18 年 7 月 31 日発行

No.2 「ロシアの火力発電分野における最新技術情報」平成 18 年 9 月 29 日発行

No.3 「ロシアの主要製油所の技術的特性とユーロ 2 基準への対応状況」平成 18 年 12 月 28 日発行

No.4 「ロシアのハイテク・ベンチャー業界」平成 19 年 1 月 30 日発行

No.5 「ロシアのハイオクガソリン事情 - その生産ポテンシャル」平成 19 年 2 月 28 日発行

No.6 「ロシアの使用済核燃料再処理技術」平成 19 年 3 月 30 日発行

(2) 技術専門家派遣

専門家派遣

- ・「高度道路交通システム (ITS) カー・ナビゲーション・システム」平成 19 年 3 月 12 日～16 日 (モスクワ)

ロシアにおいて ITS に対する注目が高まっており、特にカー・ナビゲーション・システムへの関心が高いという。ロシア運輸省、無線技術研究所などの協力を得て、関係機関を訪問し、同分野における日ロの技術、市場性、さらに協業のありかたについて意見交換を行った。

- ・「製鋼スラグ処理技術」平成 19 年 3 月 17 日～25 日 (チェリャビンスク)

昨今、鉄鉱石、スクラップの値段が高騰しており、ロシアにおいても製鋼スラグからメタル分を取り出す技術に対して興味が高まっている。チェリャビンスク州はロシアで最も製鉄業の集積度が高い地方であり、市内にも多くのスラグの山が散見される。日本から、日本の製鋼スラグの 30% の処理を行っている日本磁力選鉱(株)の専門家を派遣し、ロシアにおいては、チェリャビンスク州政府、同市政府、チェリャブギプロメズ (チェリャビンスク製鉄所設計研究所)、チェリャビンスク製鉄コンピナートなどの協力を得て、現地でスラグ山の視察を行い、また、現地の専門

家の設計能力、設備作成能力などを診断し、チェリャピンスクに同技術を移転できるかどうかを
探った。

ロシア人専門家受入プレゼンテーション

- ・「PLC (Power Line Communication) 技術」 平成 18 年 12 月 10 日～14 日

サラトフ州フィンプロム社が開発する車載用PLCシステムのAVAS (Adaptable vehicle associated system) に関する報告を行うため、同社社長と主任技師を招聘し、「ロシアITセミナー」を開催した(平成18年12月11日、東京証券会館)。また、日本の複数の自動車メーカー、電装メーカー、PLC関連協会を訪問した。

2) 中央アジア等投資促進事業

1. 中央アジア等産業専門家派遣事業

カザフスタン産業・貿易省工業・科学技術発展委員会の協力のもと、同国の機械製造業支援のための日本人コンサルタント派遣事業を実施した。平成 18 年 7 月に同委員会と事業方針を協議するために当会研究員を派遣、続く平成 18 年 11 月～12 月に同委員会による推薦企業を対象に当会研究員ならびに日本人コンサルタントによる事前調査を行い、事業対象企業 2 社を選定した。平成 19 年 2 月～3 月に同 2 社を対象に生産性向上を目的とした本格指導を実施、結果を日本語およびロシア語の報告書としてまとめ、日本・カザフスタン両国の関係各位に配布した。

・日本自転車振興会補助事業

日本自転車振興会からの補助金を得て下記の事業を実施した。

ロシア・CIS 諸国のグローバル経済化における機械産業の貿易投資可能性調査

- (ア) ロシア関係「ロシアの WTO 加盟と機械産業動向」

ロシアの WTO 加盟がロシアの航空機製造分野、自動車分野等の機械製造分野に及ぼす影響に関する情報の収集・分析をベースに、それらの分野における日本のロシアへの機械輸出や現地生産に関する可能性を考察し、その結果を報告書にまとめた。

- (イ) その他 CIS 関係「中央アジア諸国の外国貿易・投資環境と日本の機械輸出の可能性」

日本の乗用車・建機等の対中央アジア向け輸出が拡大している現状を踏まえ、さらなる機械輸出の振興に資するため、同諸国の貿易・投資に関わる法制度を調査し、報告書「中央アジア諸国の外国貿易・投資環境と日本の機械輸出の可能性」にまとめた。

対ロシア・CIS のインフラ整備と機械設備需要調査

- (ア) ロシア関係「ロシアの電力産業」

設備刷新の必要が逼迫しインフラのメルトダウンの危険性も指摘されているロシアの電力分野の現状に関する情報の収集・分析をベースに、同分野における設備投資プロジェクトへの日本企業の参加の可能性を考察し、その結果を報告書にまとめた。

- (イ) その他 CIS 関係「中央アジア諸国の輸送インフラの発展と機械設備需要」

中央アジア諸国の輸送インフラの発展と機械設備需要を調査するために、平成 18 年 10 月 30 日～11 月 4 日にかけて、ウズベキスタンを訪問し、鉄道、航空、道路関係の企業に対するヒアリングを実施し、その結果を報告書にまとめた。

対ロシア・CIS 産業貿易投資促進

(ア) 産業貿易投資促進ビジネスミーティング・セミナー実施事業

平成 18 年度は、ロシアから 2 名の経済専門家（アガンベギャン・ロシア連邦政府付属国民経済アカデミー教授およびミナキル・ロシア科学アカデミー極東支部経済研究所所長）を招聘し、東京（平成 19 年 1 月 30 日、如水会館）および福岡（平成 19 年 2 月 2 日、福岡国際ホール）で「ロシアビジネス環境セミナー - ソ連解体後 15 年のロシア経済と極東開発の展望 - 」を開催した。

(イ) ロシア及び CIS 諸国との機械産業ビジネス交流促進事業

当会モスクワ事務所を拠点に的確な情報源を発掘し、最新かつ正確な情報を迅速に提供することにより、ロシアおよび CIS 諸国との機械工業等の新たなビジネスチャンスの拡大を図った。また、現地で収集した結果を「Rotobo Moscow News」(No62 より「Ronis Moscow News」に変更)としてとりまとめ、電子媒体により提供し、機械産業ビジネス交流の促進を支援した。

・二国間経済委員会事務局業務の受託運営

中央アジア諸国、コーカサス諸国およびモンゴルの二国間経済委員会の事務局業務を下記の通り受託運営した。

・日本カザフスタン経済委員会

- シュケエフ・カザフスタン共和国アスタナ市長一行によるプレゼンテーションと昼食懇談会の開催（平成 18 年 4 月 20 日、如水会館）

- シコリニク・カザフスタン共和国産業貿易大臣一行による「カザフスタン共和国投資プレゼンテーション」の開催（カザフスタン産業貿易省、駐日カザフスタン共和国大使館、(社)ロシア NIS 貿易会、日本貿易振興機構との共催、平成 18 年 10 月 30 日、如水会館）

・日本ウズベキスタン経済委員会

- 「第 8 回日本ウズベキスタン経済合同会議」の開催（平成 18 年 5 月 18 日、如水会館）

- ウズベキスタン文化芸術フォーラム基金駐日代表部開設プレゼンテーション・セレモニーの開催に協力（平成 18 年 7 月 20 日・帝国ホテル、7 月 21 日・憲政記念館）

- 経済産業省がタシケントにおいて主催した「日本ウズベキスタン・ビジネスフォーラム」への協力（平成 18 年 11 月、タシケント）

- 楠本祐一・駐ウズベキスタン共和国日本国特命全権大使との懇談会の開催（平成 19 年 2 月 22 日、如水会館）

- マブリャノフ・ウズベキスタン共和国地質・鉱物資源国家委員会議長一行との昼食会の開催（平成 19 年 3 月 6 日、如水会館）

・日本トルクメニスタン経済委員会

- ・日本キルギス経済委員会（休会）
- ・日本アゼルバイジャン経済委員会
 - 「第4回日本アゼルバイジャン経済合同会議」の開催（平成18年11月21日～23日、アゼルバイジャン共和国バクー市）
- ・日本アルメニア経済委員会（休会）
- ・日本グルジア経済委員会
 - サーカシヴィリ大統領一行として来日したグルジア日本経済委員会との会合開催（平成19年3月7日、ホテルニューオータニ）
 - サーカシヴィリ・グルジア国大統領歓迎夕食会の開催（平成19年3月9日、ホテルニューオータニ）
- ・日本モンゴル経済委員会
 - 外務省アジア・大洋州局中国課 林課長補佐によるエンフボルド首相の日本訪問報告会の開催（平成18年4月10日、ロシア東欧貿易会会議室）
 - モンゴル国会議員団との昼食懇談会の開催（平成18年5月16日、如水会館）
 - 訪モンゴル経済交流ミッションのウランバートル市への派遣（平成18年8月30日～9月2日）
 - ジグジッド駐日モンゴル大使館公使の駐日モンゴル国特命全権大使に就任を祝う会を日本モンゴル友好8団体と共催（平成18年11月17日、エドモンド・ホテル）
 - ジャルガルサイハン産業通商省大臣一行の室伏日本モンゴル経済委員会会長への訪問（平成18年11月28日、伊藤忠商事）
 - エンフバヤル・モンゴル国大統領夫妻歓迎レセプションの開催（関連7団体との共催、平成19年2月27日、ホテルニューオータニ）
 - 駐日モンゴル大使館、モンゴル外国投資貿易庁、日本貿易振興機構主催「モンゴル・日本ビジネスフォーラム」開催の後援（平成19年2月28日、日本貿易振興機構）
 - エンフバヤル・モンゴル国大統領一行との昼食会の開催（平成19年3月2日、ホテルニューオータニ）

・会議の開催

通常総会、理事会、企画委員会を下記の通り開催した。

- ・第36回通常総会（平成18年5月23日、如水会館）

議題：

- 第1号議案 平成17年度事業報告書（案）
- 第2号議案 平成17年度収支決算書（案）
- 第3号議案 平成18年度事業計画書（案）
- 第4号議案 平成18年度収支予算書（案）
- 第5号議案 役員選任の件（案）
- 第6号議案 定款の一部変更の件（案）

- ・平成 18 年度第 1 回理事会（平成 18 年 5 月 23 日、如水会館）

議題：

第 1 号議案 役員選任の件（案）

- ・副会長選任
- ・会長代行の件

- ・平成 18 年度第 2 回理事会（平成 19 年 3 月 23 日、如水会館）

議題：

第 1 号議案 平成 18 年度事業報告書（案）

第 2 号議案 平成 18 年度収支決算見込み（案）

第 3 号議案 平成 19 年度事業計画書（案）

第 4 号議案 平成 19 年度収支予算書（案）

第 5 号議案 役員選任の件（案）（定款に基づく、補充、交替による選任。）

第 6 号議案 新規会員承認の件（案）

- ・平成 18 年度第 1 回企画委員会

（平成 19 年 1 月 19 日、ロシア NIS 貿易会会議室）

議題：（1）平成 18 年度事業の現状について

（平成 18 年 4 月～12 月・実績および今後の予定、来年度見通し等）

（2）平成 18 年度第 2 回理事会について

（3）事業の方向性について（中期的事業計画の策定）

（4）自由討議、意見交換

- ・平成 18 年度第 2 回企画委員会

（平成 19 年 3 月 16 日、ロシア NIS 貿易会会議室）

議題：（1）平成 18 年度第 2 回理事会について

（2）公益法人改革の見通し（今後の日程）について

（3）自由討議、意見交換

・平成 18 年度会員の異動

（平成 19 年 3 月 31 日現在）

1. 会員数

正会員 43 社（前年度 40 社）

準会員 99 社（前年度 81 社）

合 計 142 社 (前年度 121 社)

2. 入会

正会員	4 社	旭硝子株式会社 矢崎総業株式会社 川崎重工業株式会社 帝人株式会社
準会員	27 社	みずほ総合研究所株式会社 株式会社エム・オー・リスト・シー・アイ・エス・ロシアセンター 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 日鐵商事株式会社 有限会社ジャパン・シー・ネットワーク プライスウォーターハウスクーパース 有限会社ロシア開発コンサルティング ヤマダグローバル貿易株式会社 財団法人北九州国際技術協力協会 株式会社本田技術研究所四輪開発センター 日本貿易振興機構 北九州貿易情報センター あらたに行政書士事務所 ジェーアイシー旅行センター株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 株式会社大和総研 シーメンス株式会社 Rusal Japan 有限会社 セイノーロジックス株式会社 ジョー コーポレーション 社団法人北海道総合研究調査会 シャープ株式会社 飯野港運株式会社 METROPOL GROUP あずさ監査法人 日本磁力選鉱株式会社 東銀リース株式会社 株式会社ドーワテクノス

3. 退会

正会員	1社	同和鉱業株式会社
準会員	9社	青森県日口交易株式会社 株式会社野村総合研究所 財務省 マル八株式会社 社団法人日本プラント協会 株式会社ホトロン N I 帝人商事株式会社 FUJI OIL EUROPE バクー投資株式会社

4. 会員資格の変更

- 1) 準会員から正会員への変更 0社
- 2) 正会員から準会員への変更 0社
- 3) 合併による変更 0件